

星屑

VOL. 221
August '93



熊本県民天文台

で、31cmはどうなつたの？

長谷勇治

5月16日、開所式があり、いよいよ41cmの鏡筒が夜空をにらみ始めました。エンコーダー付きで、コンピュータと接続すれば実に簡単に目的の天体を導入できます。ただ、カミナリさんにめっぽう弱く、簡単にエンコーダーが死んでしまいましたが....。

鏡はどうだろうと思っていましたが、7月8日の運営中に見た木星はぞくつとするほど複雑な姿を見せていました。苗村鏡はダテではないようです。

会員でまだ新しい望遠鏡になってから一度も来ていない人は、シーイングのよさそうな日には是非見に来て下さい。

で、41cmが入った後、今まで11年間、私達を星の世界に導いてくれた31cmはどうなつたのでしょうか。

最近1年分の星屑をぱらぱらとめくつてみましたが、41cm購入後、31cmをどうするかについて触れている記事は無いようで、もっぱら新天文台と新望遠鏡の話ばかりです。

そう...。実は、今後の末長い会の繁栄を願つて、人..いや、望遠鏡柱として、新天文台の基礎に埋められたのです。南無阿弥陀仏.....。

というような、もつたいないことをするはずもなく、実は、首と胴体に分けられ、余生を送ることになったのです。胴体は、41cmが届いた日の夜0時頃、密かに41cmを運んできたミカゲのトラックに乗せられたのでした。

現時点では、戻つて来たという情報は聞いていませんが、若々しくオーバーホールされ、次の仕事に使われる予定だそうです。

首は、その後しばらく、シャワー室横の物置部屋にさらされていましたが、ある日の昼間、他の会員の知らぬ間に、2名の男により運び去られてしまつたのです。その日の夕方、何故か菊池郡西合志町の某所の車庫の片隅に運びこまれ、胴体なしで2ヶ月弱の退屈な日々を過ごすことになりました。

その後、7月11日にめでたく新しい胴体をあてがわれ、城南より30キロほど北の地での新しい生活が始まったのです。

これが31cmはどうなつたかの一部始終です。え？ 結局ようわからん？ 要するに、ガタが來ていた架台はオーバーホールして、新たに天体写真撮影その他、会員利用専用機として再生することになり、鏡筒は私が引き取ることになつたのです。

といつても運営委員の立場を利用して、勝手にしかもタダでせしめたということではなく、Talk aboutの席でそういうことに決まり、それなりの金額（どの程度が妥当であるかは分かりませんが、ある会員が、なんでそんなに出したの、と言つたという金額）を払つて引き取りました。

今年度の総会の事業報告にも会計報告にもその様な記述はなかつたので、前の望遠鏡がどうなつたかに関して疑問を持つておられる方も多いかと考え、報告いたしました。

今月の編集担当からいただいた（？）のは2頁だったのに、まだ1頁しか埋まつていません！ 仕方がないので個人的な経過報告をします。

私が初めて覗いた望遠鏡は「6年の科学」という雑誌の付録のシングルレンズ（死語か？）の3cm40倍という紙筒製でした。その後、中学2年で貯金をはたいて、カートンの8.4cm反射を購入し、高校3年で、15cm鏡を足立光学から購入して経緯台を自作し、火星の大接近のスケッチを取りました。

私の望遠鏡の大口径化はここで止まり、その後は、大学入学祝いのタカハシD型6.5cmセミアポ（これも死語？）を始めとした小型機ばかりで約20年が過ぎてしまいました。しかし、大きい望遠鏡と自分の天文台が欲しいという夢は細々と持つており、7年まえに車庫を作った時に2階に4畳半のスライディングルーフの観測室を作りました。しかし、入れ物だけで資金が底をつき、中身としてはそれまで使っていた90s赤道儀に新たにFC-100を乗せるのがやっとでした。

昨年、やっと資金がたまり、そう、ハワイ・メキシコ日食も諦めた。..、望遠鏡を発注することができるようになりました。色々考えた末、鏡筒は天文台の31cmを譲っていただくことにし、架台は昨年の夏、天文台のものより一回り小さいものを天文台と同時にミカゲ光器に発注しました。

秋には我が家で球状星団の粒々をはつきり見ることができるか、と期待していましたら、甘かったです。結局、着いたのは6月もそろそろ終わろうか、という頃でした。運送屋さんから電話があり、人を準備しておいて欲しいとのこと。平日に仕事を休んで家族全員と隣の親戚まで動員して待っていると、向こうはたつた一人。なんで道から車庫まで運ぶのに客が手伝わにやならんのだ。..などとぶつぶつ言いながらトラックから3つの木箱を下ろしましたがその重いこと。

木箱の片方には運送屋一人、こちら側は大人4人でやつとの思いで下ろしましたが、あらためてプロの力と要領に感心しました。

ところがミカゲとの間に立っていただいた長崎のとみたさんが7月11日にしか来れないとのことで結局、組み立てはさらに3週間延びてしまったのでした。架台が車庫を占領している間、車庫の主はあの長雨の中、戸外に追い出される羽目になってしまいました。

その間に、相当曇っていた斜鏡を再メッキに出し、アメリカンサイズのアイピースやFC-100鏡筒を載せるガイドマウントを注文したり、ガイドマウントを31cm鏡筒バンドに固定するための工作をしたりしていました。

また、以前衝動買いしてしまった中古太陽電池パネルをファンモーターにつなぎ、観測室の換気扇にする加工もしました。そのころになって、架台の一部がピラーをはみ出ることに気付き、大慌てで12mm厚の鉄板を準備しました。

7月11日午前中に、木箱を一人で汗まみれになって外に出し、板をはずし釣り下げ用金具を用意しました。やつと準備が済み、座り込んで鏡筒と2階の部屋を見比べている内、背筋が寒くなりました。この鏡筒は本当にこの部屋に入るのだろうか。..。

午後、富田氏が例のワゴンで現れ、クレーン車を呼んで組み立てにかかりました。地面で架台部の組み立てを終わり、全体をいっきに観測室に移動しました。鏡筒を架台に乗せてみると、鏡筒を南に向けて、北側の壁とあと10cmもない状態でやつと収まりました。反対向きではだめです。

とにかく狭く、反対側への移動も大変で、その日のうちにコブが2つできてしましました。回路の組み立て等が終わったのは4時半過ぎでした。

この文章を書いている時点においては梅雨があけていないので、極軸調整など全く手付かずですが、早く今までの10cmとの違いを堪能したいものだと思っています。

熊本中央女子高校 理科クラブ

私達、熊本中央女子高校理科クラブは、1年生10名・2年生4名、計14名で活動しています。だいたい生物班、天文班、アマチュア無線班に分かれています。生物班はこれまで『市内数ヶ所の銀杏の葉の気孔の状態を調べ、交通量との関係を探る』『クロッカスの水栽培球根50個を1単位とし、美しい音楽、雑音、コントロールという条件における生長の差を見る』『海草標本の作成』などをテーマに活動してきましたそして今度は酸性雨を調べる事になっています。降水確率50%以上の日は自動雨採器を屋上にセットし、雨が採集できた日はpHを調べますその後、どんな資料と照らし合わせるかは未定ですが、できる事なら普賢岳の噴火状況との関係も見てみたいのです。噴火状況の資料を手にいれる方法をご存じの方がいらっしゃるのなら、是非教えて下さい。宜しくお願ひします。

天文班の主な活動は『月に一度校舎屋上における天体観測会』と、以前行われていた博物館主催の『星を見る会』への参加、夏休みや冬休みの天体合宿があります。屋上での観測会は市内中心部に近いため星の数は少ないですが、それでも1等星を中心に充分楽しめ、レンズを通して初めて月を見たときは、不思議な感動を覚えました。写真も何回か挑戦したのですが、何とか見れるのは月の写真だけでした。休み中の天体合宿は、竜ヶ岳町のミューイ天文台などを利用しています。近くのバンガローはきれいで広いえに値段も安く、快適でした。

夜、歩いて星を見ながら天文台まで行き、さらに設置された天体望遠鏡での星の観測は素晴らしいものでした。今年は、開設されたばかりの清和高原天文台で2泊3日の合宿を予定しています。8月11日がスタートフェスタと言うことでしたので8月11~13日の3日間、12日の夜は運良くそばのバンガローが予約できたのでとても楽しみです。

アマチュア無線班は残念ながら今年は一人もいなく、お休みの状態ですが、来年パソコン通信への参加を期待しています。

お詫び

先月号の星屑で、原稿が間に合わなかった、と記事の中で書きましたが、実は事務局には期日までに届いていました。当方の不手際で、大変ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び致します。

☆ 8月の天文現象&行事 ☆

2日 満月(21:10) トーカアバウト

7日 月が最遠(405261Km)

9日 トーカアバウト

11日 下弦 九州スターフェスタ開催

12日 ペルセウス座流星群が極大のころ

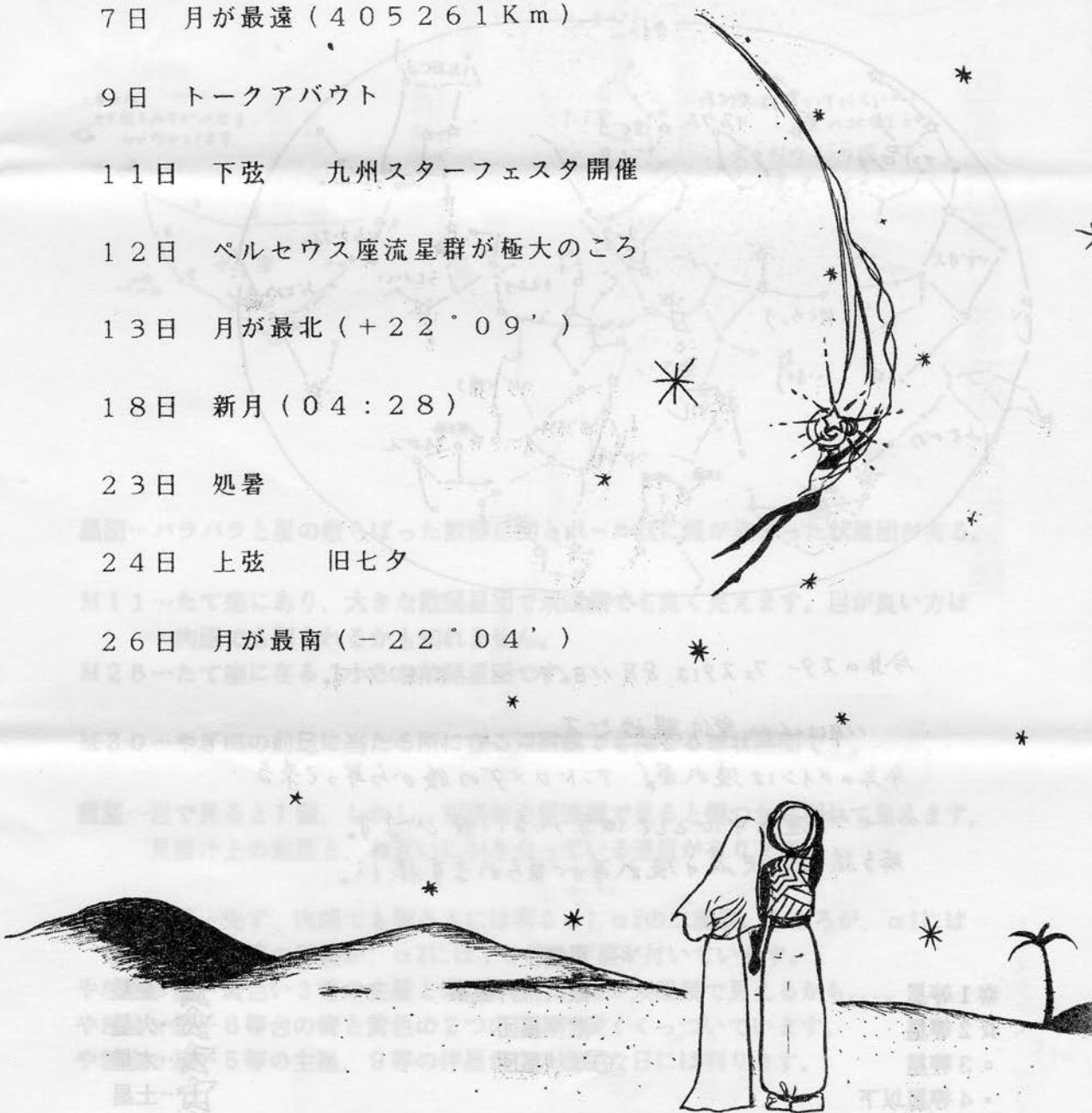
13日 月が最北(+22°09')

18日 新月(04:28)

23日 処暑

24日 上弦 旧七夕

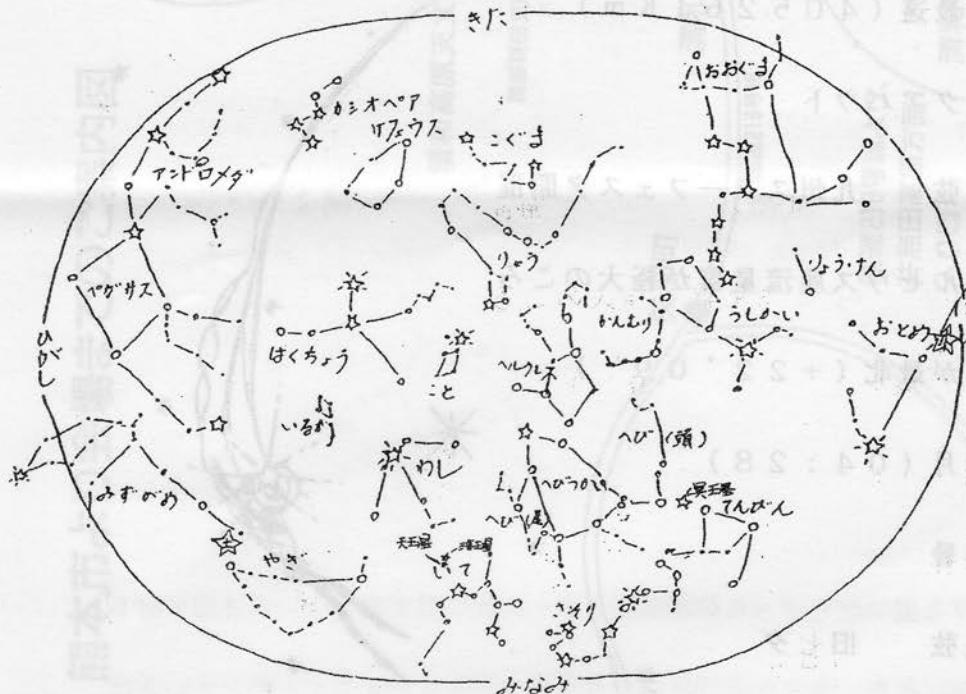
26日 月が最南(-22°04')



Keikoの星空散歩

8月上旬 ☆ 午後9.00頃

8月下旬 ☆ 午後8.00頃



今年のスター フェスタは 8月 11日(水)～ 12日(木)です。

11日は16:00、受付開始です。

今年のメインは流れ星！ アンドロメダの後から毎二年、
ペルセウス座を中心として四方八方に舞ひます。
降る様な、沢山の流れ星が目立めきす様に

- ※ 1等星
☆ 2等星
。 3等星
· 4等星以下

- 星雲
 - 銀河系外星雲
 - 散開星団
 - 球状星団

- 水星
金星
火星
木星
土星

8月の見所 (+7月号)

星雲 … 1個の星では無く、ガスや沢山の星が集まってボーッと見える物。

今回は在りません。

土星は今、
やぎ座とみすこし山座と
重なり合います。



天の川の
のつもり

たて座は見づけにくいので
いて座の北側とか
天の川のこちら邊とか
覚えて下さい。



星団…バラバラと星の散らばった散開星団とボール状に星が集まつた状星団が有る。

M 1 1 …たて座にあり、大きな散開星団で双眼鏡でも良く見えます。目が良い方は肉眼でも判られるかも知れません。

M 2 6 …たて座に在る、小さな散開星団です。

M 3 0 …やぎ座の前足に当たる所に在る双眼鏡でも搜せる球状星団です。

重星…目で見ると1個、しかし、双眼鏡や望遠鏡で見ると幾つかに別れて見えます。見掛け上の重星と、お互いに引き合っている連星が有ります。

やぎ座α星…先ず、肉眼でも判る人には判るα1, α2の二重星。ところが、α1には9等の伴星が、α2には10等の伴星が付いています。

やぎ座β星…黄色い3等の主星と青い6等の伴星が双眼鏡で見えるかも....。

やぎ座π星…6等台の青と黄色の2つの星が可愛くくっついています。

やぎ座ο星…5等の主星、9等の伴星が空の奇麗な日には判ります。

A horizontal row of 30 gray star icons, used as a decorative separator or rating scale.

みんなで流れ星を見よう！

第6回 九州スタートエース

「星の降る夜」 I N 清和 | '93

★ 93年第6回九州スターフェスタは、今春オープンした清和高原天文台の広々とした草原で、特別たくさんの流れ星を見ることができるでしょう。大望遠鏡では、環のある星・土星も見ることができます。

日 時 8月11日16時～12日朝まで（水～木）

場 所 熊本県上益城郡清和村井無田 清和高原天文台

参加費 小中学生￥200、高校生以上￥300 この他食事(夕・夜・朝食)代として1,000円程度必要。

日 程 8月11日

16:00 受付開始

夕食、バザー、特産物、餅搗き

清和村長・熊本県民天文台長・清和高原天文台長
挨拶

18:30 緑仙太鼓

文樂紹介

20:00 星座物語 「アイヌラックル」上映

矢部絹子さんによる生語り

20 : 30 觀測会

流れ星・土星 など

望遠鏡

ニュートン式口径 50 cm (天文台)

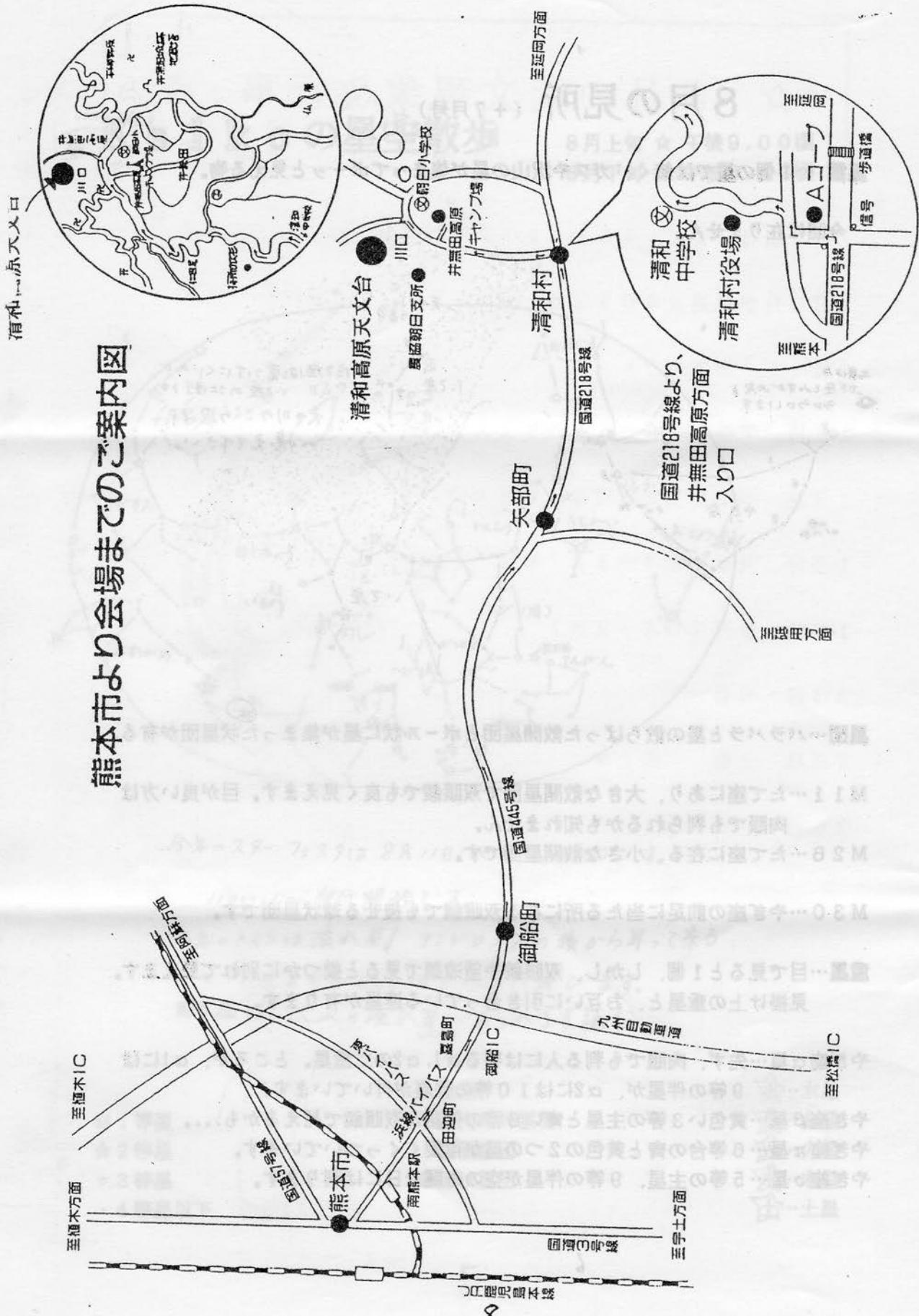
ドブソニアン口径 50 cm (移動式)

他

2 3 : 0 0 以降自由觀測

高原の夜は冷えます。寝袋、毛布などをご持参下さい。たくさんの流れ星が見えます。

熊本市より会場までのご案内図



「くまさんネット」への誘惑

熊日新聞社が主催しているパソコン通信ネット「くまさんネット」というのがあります。パソコン通信というのは、とっても便利な道具で、特にある事柄をわーっと、みんなに知らせるのにはこんなに重宝するものは他ないので、これは県民天文台でも使わない手はない、半分実験的にこの「くまさんネット」を根城に始めたのがこの3月6日のことでした。それから半年で参加者は15名になりました。

根城にするといっても、「くまさんネット」を武装占拠するということではなく、「同報メール」というしくみを利用しているだけに過ぎません。がとっても、便利です。

突然的な天文現象や、最新の天文台の情報、お願ひ、いろんな質問などがこれをつうじてやりとりされています。さあ、みなさんも参加されてみませんか？

※すでに、パソコン通信をすでにやっている人は

TEL 096-359-5200で、ゲストではいれます。

そこで入会申込み用紙を手にいれて、熊日に申し込んでください。

※まだ、パソコン通信をやってない人は

高田まで連絡してください。

※県外の会員の方も・・・

毎月、一月分のメールをまとめてダイジェスト版をつくっています。 (())

NIFTY-Serveに加入されている方には、私を通じてそのダイジェスト版を (..) 送れます。希望者の方は連絡してください。 (☆) kcao

連絡先は 高田 祐一まで NTT:0968-46-3512 <まんネット:KCAOTAKA
NIFTY-Serve:JAE00724

【6月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 16日/30日=53.3%

来台数 179名

6月の熊本は豪雨に悩まされました。(熊本市の降水量は900mm、阿蘇山1500mm) それにも、かかわらずお客様は多かったようです。西空に輝く木星は薄曇りの一般公開の手助けになってくれました。

日付	天気	来客数	運営担当	記事
1(火)	曇			
2(水)	曇のち雨	3名	山口	月、木星 せっかくこられたので月と木星を入れて観た が像がボヤけてる。雲えお気にしながらの ハラハラ運営だった(山口)
3(木)	曇り	0名	有馬、長谷 山口	有馬さんの弟さんがCanon500mmf4.5を持参 なかなかよさそうでした(価格も)(長谷)
4(金)	曇	50名	山口、中尾 中島	月食の為、曇っていたがちょっと見えた 他木星 映写 日食ビデオ(ハワイ・メキシコ版) 旧天文台案内ビデオ 月食があった為なのか、曇っていたのに すごい人手だった。駐車場の誘導までするこ になった。(山口) 艶島、国吉、安達、高田、永原、立川、渡辺、永井
5(土)	晴れ	44名	高田、永井 国吉、池永 立川	木星、しゅ、M57、月、七色が青空の中 今日はじめて、テレトレをつかいました。 テレトレをつかって青空の中木星とスピカを いました。 月が東の山からのぼってくるところをお客 さんといっしょにみました。 ※山本剛宏さん←新入会員 艶島氏と新村氏 41望遠鏡の極軸調整

				小林J、艶島、八坂、新村
6(日)	くもり	4名	艶島、安達 甲斐	木星、スピカ、ミザール テレトレ使用中ファンクションキーはよく たしかめておきましょう！南国の星空が。。 鹿本氏 (甲斐)
9(水)	曇→晴	6名	藪田、西村 小林J	今日の当番はみんな遅刻した。お客さんは 来ていました。(高田) 木星を6mmでみて感動(西村) 火星、M13、ミザール(藪田) 緒方
10(木)	晴れ	17名	長谷	例の先生が子供達を10名ほど連れて来られ ました。木星、火星、ミザール、M27、13、ベガ
11(金)	晴れのち 曇り	21名	中尾、艶島 高田、安達	木星、ビーナス、アルビレオ、ミザールヒルコロ、M13 公開途中にてくもり、ステラが大活躍? 森さん、食中毒にて休み 小林J、佐伯
14(月)				TALK-ABOUT、臨時理事会 永井、宮本、艶島、中島、小林J、荒井賢三、立川F、山口 渡辺先生、西村、安達、高田、山本重信、国吉、中尾 藪田、立川正之、小林昌樹、藪田、有馬、甲斐
19(土)	雨のち晴 のち曇	23名	中島、山本 国吉	木星、W ² スター、M13、ナビゲーター 多分エンコーダーがこわれました！雷のせい 艶島、磯田 (国吉)
20(日)	くもり	4名	艶島、安達 甲斐	木星、ミザール、以下ステラナビゲーター、 さそり座、いて座、天の河、夏の大三角形 南十字星、コールサック、うみへび座、テープル山、etc なんと浅地くん、なんと佐世保には大きな 本屋がない！熊本まで買物にきたのでした 気をつけてかえってね
24(木)	くもり	なし	有馬	城南町サガラ氏に次の事えをお願いしました ①天文台のアプローチ(如アプローチ部分)のVP150排水管 を移設し来台者が入・水通れるようにする ②トルクの浄化水槽周辺からの山砂の流出が天文台 内へ続いているので矢板等で止めほしい 本日確認したところ①はほぼOK②は未試行 明日役場へTELしておきます コンピュータコーナの電気がついたままで した。帰る時は十分確認の上帰りましょう。 本日、新産業さんに来てもらい3ヶ月点検 実施。南妻の妨害対策急いでもらう様指示し ておきました(有馬)
25(金)	雨	なし	立川、山口	建物、動産の保健調査の為、安田火災及び 肥後商事と同行。一応の保健内容確認 保健契約まで火の用心を (立川正之)
26(土)	曇り	7名	高田、国吉	木星、月 星屑発送作業 艶島、中島、中尾、藪田、山口、磯田、濱野、甲斐
27(日)	晴れ			今日は天研恒例(?)の1、2年マラソン大会 黒髪-天文台間20Km全員完走(濱野) 宇都、姫野1号、濱野、富久、西村、池田、藪田 泉、磯田、安部、緒方、民田、姫野2号、炉山、浜本 島元、澤村、権籬、鷹見、中村、吉永、小林J

キャンアダホイ、キャンアダホイ、キャンアダホイホイホイ~!

ワシャワシャワシャワシャ、熊本城のセミ、元気ですねー。暑い毎日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。セミ、といえば虫取り、昔は素手でワシッと捕まえていたんですが、最近のセミは、声はそれども、姿が見えず、です。さびしいのお。でも熊本城には、まだ沢山住んでるみたいですが、ただ、街の発展と反比例して自然が少なくなっていくのは悲しいものですね。

先日、あんまり暑かったので「ひさしぶり晴れたし、バイクも乗つてらんけん、どっか行ってみろ。」ということで大宰府に居る親戚の所へ行きました。行きは3号線をどどどどーっとのぼって行き、だいたい2時間半ぐらいで大宰府に到着。結構こちらは涼しかった。熊本より北にあるので涼しいのでは、などと馬鹿なことを考えながら、一休み、で、せっかくここまで来たらには何か買わねば、と考え、大宰府といえば梅ヶ枝餅。これは買わねばなるまい。ということで天満宮へ。ところがじやじやーん。駐車場が・・・ある。あるけど・・・車は400円、二輪200円。へ、バ、バイクも駐車料金とるの?。てなわけで、駐車場にはバイクを止めずに(なんてケチンボな私)そのまま、まっすぐ進んで大宰府駅の前にくると、「あ、梅ヶ枝餅見つけ」てなわけで、店の前にバイクを止めてお土産の餅を買った。ちなみに、バイクの真横に駐車禁止とでっかく書いた標識があった。(後日談であるが、その店の真向かいが派出所だそうです・・・)さて、帰ろうと3号線を下ろうと思ったが、時間も遅いし餅もひえる。で、高速を走りました。(バイクで走る高速は風がすごく、あんなに恐ろしいとは思わなかつた。)自宅までなんと1時間半で到着。梅ヶ枝餅もまだあったかく、ちょっと嬉しい・・・。

梅ヶ枝餅を宅配したら、みんな注文してくれるかな、とおもった夜でした。(何時間かかるて届けるのであろう。)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1993年 8月号 通巻221号

発行所 熊本県民天文台 〒861-41

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号

熊本市立熊本博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

担当 中尾 富作